

忘年会山行～七ツ石小屋（会山行）

（報告）TI

◎期日：2024年12月26日～27日

◎メンバー：FY(L)、NH、TM、KT、AI、SM、IK、TI

代表のFYさんから「今年の忘年会は七ツ石小屋でほうとう鍋」と聞いて即座に参加表明しました。七ツ石小屋は、過去2回テント泊で利用したことはあるが小屋に泊まるのは初めて。そして翌日登る雲取山は本格的に登山をするきっかけになった山の一つである。

玉川上水の駅でIKさんの運転する車に乗り込み小袖駐車場を目指し、TMさん、SMさんと合流する。ここでSMさんより渡された本日の鍋の具材をザックに詰め込み登山開始となる。雲取山は大きなアップダウンはないがひたすら登りが続く。先頭のFYさんがゆっくり歩いてくれたおかげで途中までは息切れもせず歩く事ができたが、富士見ターンを過ぎると勾配が一層増し息が切れだし、みんなに後れを取らないよう必死に歩いて行った。最後のカーブを曲がり小屋が見えてきたところで、前日テント泊をしていたNHさんとKTさんが待ちわびたように手を振って迎えてくれた。

小屋に着くと猫支配人の伝五郎くんも出てきて、そのかわいらしさに今までの疲れが吹き飛んでしまった。ひと段落つくといよいよ忘年会の始まりだ。小屋でレンタルした鍋とコンロを使い、みんなで分担して持ってきた具材を入れていく。最初はキムチ風味の寄せ鍋。2回戦はFYさん手作りの味噌で。そして3回戦はうどんを入れたが、すでにみんな満腹になっていて明日の朝ご飯に持ち越しとなった。他にもTMさんの手作りこんにゃくやAIさんからは銀杏等々。お酒も進み和やかに会は進んで行き、最後に行なった各々の今年の活動報告では、NHさんの的確なアドバイスに経験の深さを感じられ貴重な時間を持つことができた。就寝前に小屋番さんから湯たんぽを受けとり各自の布団に入ったが、この湯たんぽで一晩中暖かくぐっすり眠ることができた。

翌日雲取山へは日の出後の出発となったので、のんびりと昨日の残りのうどん鍋を食べ準備を進める。NHさんとKTさんの二人はこの日は山頂には行かず下山するとの事で、名残惜しいがお別れし残り6人で最初のピーク七ツ石山に向け出発する。七ツ石山は小屋のすぐ裏の山だが最初の登りがなかなかキツいが、山頂からはこれから進む石尾根や、この日はちょっと雲がかかってしまっていたが富士山が見え眺望の良い山である。



石尾根を進んで行き以前奥多摩小屋があった場所に着く。ここは来年の3月に新しくテント場としてオープン予定との事だ。小雲取山手前の急登を超え、避難小屋の赤い屋根が見えてくるとあと一登りで山頂だ。山頂は風もなく、何日か前に降った雪が残っていたがチェースパイクやアイゼンを付けるほどではなかった。個々に記念写真を撮りあっていると、運良く登ってきた女性に全員の記念写真を撮ってもらう事ができた。避難小屋で小休憩をして七ツ石小屋に戻り、猫支配人の伝五郎くんに見送られて下山となった。雲取山の下山はとにかく下り一辺倒で長く脚に負担がかかる。それでも2時間と少しで下りてこられたのは素晴らしいと思う。

今回参加した8名のうち半分の4名は80代でFY代表曰く、『日本高齢化社会最強メンバー』との事だが、まったくその通りだ。80代になってもテントを担いで登られたNHさん、KTさんには本当に頭が下がる思いだ。これからも会の先輩達をお手本に山歩きに励んでいきたいと思う。

《コースタイム》

1日目

小袖P(11:35)→堂所(11:45~11:50)→七ツ石小屋(14:50)泊

2日目

七ツ石小屋(7:15)→七ツ石山(7:35~7:50)→奥多摩小屋跡(8:40)→ヨモギの頭(8:40)→小雲取山(9:10~9:20)→雲取山(9:35~9:50)→雲取山避難小屋(9:55~10:10)→小雲取山(10:20)→ヨモギの頭(10:40)→奥多摩小屋跡(10:50)→七ツ石小屋(10:30~12:35)→堂所(13:10)→小袖P(14:50)